

萌芽会報

第5号

昭和63年5月1日発行



機械電気科

萌芽会・編集部

編集発行人 大久保 和 行

大阪市都島区善源寺町1丁目5の64

都島工業高等学校

機械電気科研究室内

TEL:06-921-0231代

これが機電のパワーだ!!

第10回 萌芽会総会 懇親会

—— 昭和62年6月27日(土) 開催 ——



▲ 新卒会員の歓迎



▲ 来年の再会を約束して
万才三唱も力が入る

昔話しに花が咲き、楽しいひととき。酒のピッチも自然に上がりました▼



▼ 御来賓の皆様方

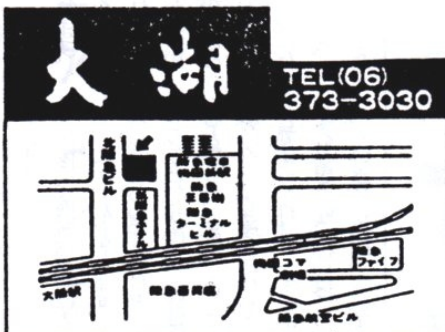


第11回 萌芽会総会 並びに 懇親会御案内

日時 昭和63年6月25日(土)
PM6:00~9:00

場所 大湖(下図参照)

会費 ¥6,000円
(新卒会員 ¥1,000円)
当日御持参下さい。



☆お誘い合わせの上、多数御出席ください。

☆準備の都合上6月15日迄にお知らせ下さい。

今年は会場が変わります。

~~~~~  
ご注意ください!  
~~~~~

第4回萌芽会

ゴルフコンペ御案内

月日 昭和63年10月26日(水)

場所 茨木高原カンツリークラブ

申込締切 昭和63年6月末日

参加御希望の方は各クラス幹事 又は 事業部長 安養寺(昭43卒)まで御連絡ください。詳細決定後直接御通知致します。

お詫び 昭和62年度は、案内を致しましたが、実施できず大変申し訳なく思っております。

紙面を借りましてお詫び申し上げます。

会長挨拶

田中喜一

(昭和41年卒)

会員の皆様 お元気で活躍の事とお喜び申し上げます。

早いもので一年が矢のよう過ぎ、萌芽会報も第5号をお届けする時期になりました。日頃の会員の皆様のご協力を感謝しつつ筆を執った次第です。

さて昨年度は母校創立80周年の記念事業が盛大に実施され、萌芽会の会員の皆様からも多大の御協力を得られました事、大変うれしく思います。ここに厚く御礼申し上げます。お陰をもちまして、すべて成功裡に終了いたしました事を御報告申し上げます。母校は本館建替事業の最中です。少しさみしい気持ちもありますが、80周年を区切りに、新しく生まれ変わった母校を見る日もそう遠くはありません。皆様と一緒に見守ってゆきたいと思えます。

次に萌芽会の大きな行事である総会ですが、今年は場所を変えて梅田の大湖で開催する予定です。懇親会もできるだけ楽しむものにしてゆきます。皆様の御出席をぜひお願いし盛大な催しにしたいと役員一同頑張っております。特にOBの方々である37年・40年卒業の会員の参加が少なく残念に思います。ぜひ共に参加いただき、後輩の為に

萌芽会の発展の為に激励いただきます様、併せてお願い申し上げます。

最後になりましたが皆様の健康と益々の活躍をお祈り申し上げます。ご挨拶といたします。

都工での思い出

大野義人

(昭和63年卒)

ようやくとなりついた卒業一私だけでなく、同級生全員が待ち望んでいたと思えます。この3年間にはいろいろなことがありました。入学して間もないころ、8時15分に本鈴が鳴り、それまでに学校に来ることがとても辛かった記憶があります。学校に慣れて来たころには、体育祭や文化祭、上級生の先輩方と共に行事に取り組み、同じ学年だけで縦のつながりがしつかりしているのも、都工ならではのこの点だと思います。勉強については、専門教科が機械電気科の名のとおり、一年生とさからしつかり機械・電気共に準備されており、良い成績を取るためにはしっかりと勉強しないといけないと思えました。

でも、楽しいことも少なかりません。4月早々には生徒小大会・ソフトボール・バレーボール・卓球などで腕を競い合ったり、年に2回あった遠足でも、わいわい騒いで楽しく過ごした思い出もあります。修学旅行では六月になろうという時に、まだ雪が残っていた黒部アルペンルートでみんなで走り回ったりしました。また、資格試験には、先生方に御指導いただいたおかげで、電気工事などの資格を取ることが出来ました。

浪速工業会費の払込みに御協力ください。
昭和62年度は93名の会員の皆様により払込みいただきありがとうございました。萌芽会へも還付されます。

将来のために

平野敏志

(3年生)

早や、都工に入学してから、あつという間に最終学年になってしまいました。そして、就職・進学を決める大切な時期になりました。

この二年間を振り返ると長いようで短く、苦しいよつで楽しい学校生活でした。体育祭・文化祭などで、先輩達に手とり足とり教えてもらいながら、スタンド・バックの製作、展覧の準備など、そして当日の成果は、とてもことはでは言い表わせない思い出となっています。

でも、僕が一番感じていることは、都工生の一人一人が、工業人になる気構えを持っているので、普通高校の生徒とは違うところがあります。都工生の一人一人が資格をとりたいと思つて、いかんかとは分りませんが、僕はこの二年間に何かの資格試験などがあつたら、いくつか挑戦しています。

自分が何かの資格をとり、就職したときにそれが役立つかも知れない。もし、役に立たない場合でも、損はないと思えます。だから、僕はあと二年の高校生活の中で、資格がとれたら一つか二つ、いやもっととつてみたいのです。そして就職・進学についても自分の納得のいくように、人に左右されずに自分自身の手でしつかりつかんで、自分の未来のためにがんばりたいと思えます。

機械電気科に入学して

大崎 仁

(3年生)

機械電気科に入学して、二年間がたちました。この二年間において、一番残念だったのはクラブに入つていなかったことです。これには理由が二つあります。一つは体操部がなかったこと、もう一つは、僕が球技や陸上競技を苦手とするためです。そのため、僕は三年間クラブに入つていませんでした。

しかし、その反面、僕はある目標を持つことができました。それは、通産省の情報処理試験の二種をとるということです。なぜ、このような資格をとろうと思つたのかといえば、中学校の時、なにか資格が欲しかったのと、今の機械電気科の授業カリキュラムに、ボケコンで扇風機を動かす実習やワンボードマイコンを使つター類を

動かすよつなことが含まれていたので、僕は、夢があります。それは、海外へ留学することです。なぜなら、一生の仕事を決める就職の時に少しでも広い視野で物事を考えることができるよつなこと、英語の力がつくなためです。これは一生、役にたつと思つし、何事に対しても、世界的視野で物事が見られるた

めに、僕は外国への留学を考えています。最後に、機械電気科に入学して、よかつたと思えます。途中、苦しい時があつたけれど、こついつことが非常にいい経験になると思つし、また、少しいろいろんな友達と知りあえたこと、これは、一生の財産になると思つるので、長くつぎ合つていきたいと思つています。

あらゆる印刷物のデザインから製作まで

山岡印刷株式会社

山岡元修 (昭和41年卒)

大阪市北区天満3丁目10番17号 電話 06 (352) 6441 (代表)

母校だより

体育祭は、校舎改築のため、昭和62年6月22日に開催されました。成績は、僅少差で第3位でした。

文化祭は、昭和62年11月7日

・8月に開催されました。
 なお、今年度は、昭和63年9月25日に体育祭、昭和63年11月5日・6日に文化祭が開催される予定です。

▲ 体育祭



▲ 文化祭・作品は「模型エレベーター」



▲ 「アームロボット」



▲ 都工祭

スコアボード



昭和63年6月27日、母校機械電科で第3学年(74名)を対象に進路懇談会が実施されました。参加された先輩方は次の通りです。(卒業年度順、敬称略)

- ・田中喜一 (S41卒)
- ・三洋電機環境設備 (株)
- ・西 孝夫 (S55卒)
- ・油圧機輿販売 (株)
- ・中島 香 (S57卒)
- ・(株)日本システムデベロップメント

- ・真弓哲治 (S59卒)
- ・近畿日本鉄道 (株)
- ・吉機慎吾 (S60卒)
- ・相生電気 (株)
- ・坂口卓應 (S60卒)
- ・関西大学工学部電子工学科
- ・赤下部修行 (S61卒)
- ・日本電信電話 (株)

卒業記念品の贈呈

昭和63年度卒業証書授与式が昭和63年2月27日(土)に母校本館でとり行われました。すでに本館半分は建替工事中で、少しおもしろい思いのする卒業式でした。機械電科74名の卒業生は元気に集まり、朋芽会から記念品としてドライバーセットを贈呈しました。

御挨拶

橋本 三千穂

(機械電科科長)

會員諸氏におかれましては、それぞれの職場において御奮闘のことと存じます。

昨年度は、本校創立八〇周年に当り各種の事業を推進し、大きな節目を大成功の中に終えました。偏に會員諸氏の御援助の賜であり、厚く御礼申し上げます。尚、本館竣工に向けて事業が継続されますが、よろしくお願ひ致します。

さて、機械電科が、昭和三四年に設置されてより、此の四月には三〇期生八二名が入学致しました。

この三〇年間に、日本は経済大国へと発展を遂げ、世界における地位も確立されてきました。この大きな要因は、工業の発展そのものであり、これを支えてきたのは現場で活躍されている會員諸氏であります。多忙な毎日でありましようが、更に御奮闘をお願い致します。

機械電科職員紹介

機械電科六クラス、二四六名の生徒に対し、次の先生方で指導されています。

尚、機械電科で五年間御指導いただきました松原康友先生は、この四月の異動により大阪市立生野工業高校に栄転されま

前述の通り、機械電科は設置以来三〇年になりますが、近年工業高校の活性化あるいは先端技術対応のため、全国に電子機械科が誕生しており、昭和六二年度において五〇校を越えている現状であります。これは、社会がメカトロニクス技術者を求めている表れであろうと考えます。

機械電科と致しましても、時代の変遷に対応すべく、指導内容の検討・工夫をなし、日本の先進校として責任を果すべく研究を進めております。

その一端を、八〇周年記念都工祭(文化祭)における学校展・科展において披露いたしました。今後とも研究は継続しなければなりません。會員の方々からの最新情報の提供を賜りたく存じております。

會員諸氏のみならずの御健康をお祈り致しております。

先生の御労苦に感謝申し上げますと共に、今後の御活躍をお祈り致します。

後任には、藤原隆先生をお迎えしましたので、よろしくお願ひ致します。

▲ 機械電科職員の方々



上段台から

下段台から

- 細野浩一 先生(1a担任)
- 鷺見隆 先生(1b担任)
- 高橋昭次 先生
- 拓原康友 先生
- 竹野泰幸 先生
- 村尾勝継 先生
- 馬越盛治 先生
- 巽利春 先生(2b担任)
- 成田義之 先生(3b担任)
- 中野静弘 先生
- 橋本三千穂先生(科長)
- 菅沼 滋 先生
- 寺口正信 先生(3a担任)
- 田中修二 先生(2a担任)

大阪エアコン(株)

〒06(768) 0678(代)
 安養寺 哲夫(昭43卒)

萌芽会昭和62年度会計報告

63. 3. 31

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	79,949	萌芽会会報第4号印刷代	27,000
広告協賛金 S.38 年馬淵, S.41 山岡 S41 藤本各氏より	18,000	祝儀費	40,000
62年度部会広告料 還付金	5,400	62年度卒業生記念品	33,210
61年度部会還付金 2名	800	通信費	10,440
62年度 " 64名	64,000	工業会館使用料	2,600
80周年募金部会 還付金(第1回)	40,000	役員会会議費	17,300
" (第2回)	30,000	卒業記念シール代	8,000
報広告料還付金 (第112号)	19,500	広告協賛者御礼品代	3,900
第10回萌芽会総会 会費	281,000	第10回萌芽会 総会費用	294,465
62年度在校生会員 会費	24,000	雑費	10,485
合計	562,649	次年度繰越金	115,249
合計	562,649	合計	562,649

会務報告

(昭和62年度)
 ●昭和62年3月20日(金)
 第10回萌芽会役員会を浪速工業会館で実施した。(会報編集、総会打合せ)
 ●昭和62年5月1日(金)
 萌芽会報第4号を発行した。(発行部数一、二〇〇部、四ページ)
 ●昭和62年5月23日(土)
 第2回萌芽会役員会を浪速工業会館で実施した。(総会準備)
 ●昭和62年6月27日(土)
 機械電気科3学年(74名)を対象に、進路相談会が母校で

実施され、OB8名の方々が参加された。

●昭和62年6月27日(土)
 大湖梅新店でPM6時より、第10回萌芽会総会、懇親会が実施され、会員、来賓合わせて50名参加された。
 ●昭和63年2月13日(土)
 第3回萌芽会役員会を浪速工業会館で実施した。(昭和63年度事業計画、予算案)
 ●昭和63年2月27日(土)
 昭和62年度の卒業証書授与式が母校で行われ、萌芽会より卒業生74名に記念品を贈呈した。
 ●昭和63年3月26日(土)

会費納入のお願い

部会報5号の発行となりまして、6号、7号とより充実したものに続けるため、皆様の投稿をお待ちします。クラス会より、職場より、何でもけっこうです。写真も歓迎します。どしどしお寄せください。
 〒534 大阪市都島区善源寺町二丁目5番30号
 浪速工業会「萌芽会」宛
 第4回萌芽会役員会を浪速工業会館で実施した。(会報編集、総会打合せ)

萌芽会会員

就職先ベスト、27社

昭和62年度迄の卒業生総数	1089名
勤務先判明者数	952名
自営業者数	53名
就職者数	899名
就職会社総数	440社

- 1位 NTT
- 2位 松下電器産業
- 3位 三菱電機
- 4位 油圧機器販売
- 5位 山武エンジニア
- 6位 シャープ
- 7位 ダイハツ工業
- 8位 富士通
- 9位 京阪電気鉄道
- 10位 日本ユニシス
- 11位 近畿日本鉄道
- 12位 阪急電鉄
- 13位 三菱電機
- 14位 大阪機電
- 15位 三菱エンジニア
- トヨタ自動車
- 大阪市交通局

昭和63年度 萌芽会役員名簿

(役職)	(氏名)	(卒年)	(自宅電話)	(役職)	(氏名)	(卒年)	(自宅電話)
会長	田中 喜一	S41	06-336-0490	幹事	藤咲 猛	S48	06-725-2596
副会長	安養寺 哲夫	S43	06-681-8824		中島 聖	S49	06-909-3736
部長	安養寺 哲夫	S43	06-681-8824		小野 寛	S52	0720-83-0317
副部長	高橋 良司	S43	0726-94-0225		柏原 正一	S51	06-953-2375
総務部長	中島 聖	S49	06-909-3736		畑田 敏昭	S52	06-922-6415
編集部長	大久保 和行	S41	06-972-5761		是松 繁	S53	06-468-0582
編集部	田中 喜一	S41	06-336-0490		酒井 宏	S54	06-553-0956
幹事	平田 克彦	S37	06-961-0581		森本 雅幸	S55	06-697-8328
	馬淵 敏治	S38	0720-48-5962		金本 春尚	S56	06-606-4969
	小原 正利	S39	07956-7-1718		中田 淳二	S57	06-532-6638
	白露 義照	S40	07437-6-8662		竹野 泰幸	S58	06-709-0865
	岩地 馨	S41	06-962-1997		浦野 高次	S59	06-923-1465
	山本 隆男	S42	0720-79-3220		瀬尾 孝志	S60	0721-54-3699
	安養寺 哲夫	S43	06-681-8824		稲村 信男	S61a	06-955-1493
	今井 進	S44	0720-58-2822		岩本 尋志	S61b	06-329-2205
	畠中 聡	S45	0720-58-2822		斉藤 陽一	S62a	0729-77-6723
	山崎 龍行	S46	06-934-7665		谷口 哲也	S62b	0720-71-1154
	玉城 洋一	S47	0722-93-0336		中川 浩一	S63a	0729-23-0855
					秋吉 孝一	S63b	0720-21-2633

昭和63・64年度浪速工業会役員名簿

(役職)	(氏名)	(卒年)	(自宅電話)	(役職)	(氏名)	(卒年)	(自宅電話)
理事	岩地 馨	S41	06-962-1997	参事	千葉 晴夫	S37	0726-33-4196
参事	馬淵 敏治	S38	0720-48-5962		川口 寿通	S40	0720-73-9410
評議員	牧野 正一	S41	06-725-2401	評議員	藤咲 猛	S48	06-725-2596
	柏原 正一	S51	06-928-6040		畑田 敏昭	S52	06-922-6415
	塩田 俊之	S53	06-928-7491		竹野 泰幸	S58	06-709-0865

18位 ミノルタカメラ
 三豊製作所
 富通興業
 富澤ロック
 日立電子サービス
 日立製作所
 日立製作所
 中北製作所
 立石技術サービス
 大阪カス
 JR西日本
 以上

代表者 藤本明德 (昭41卒)
 〒666-01 川西市東多田才谷3-1-7
 ☎0727(93)3693

藤本金属

鋳鋼用原料・大量買付